

Berlin Report

December 2022

CONTENTS

- * Project 1: Château Royal
- * Project 2: Dóttir

1. Château Royal

Project Overview

個性的なホテルのニューオープンが続いたベルリン。9月にソフトオープニングを迎えた「Château Royal」は中でも注目のアドレスだ。各国の大使館や美術館が並ぶ大通り、ウンター・デン・リンデンから一本入った便利だが静かなロケーション。19世紀末と20世紀初頭に建てられた文化財保護下にある歴史的な建物に、David Chipperfield Architects が一部増築した。

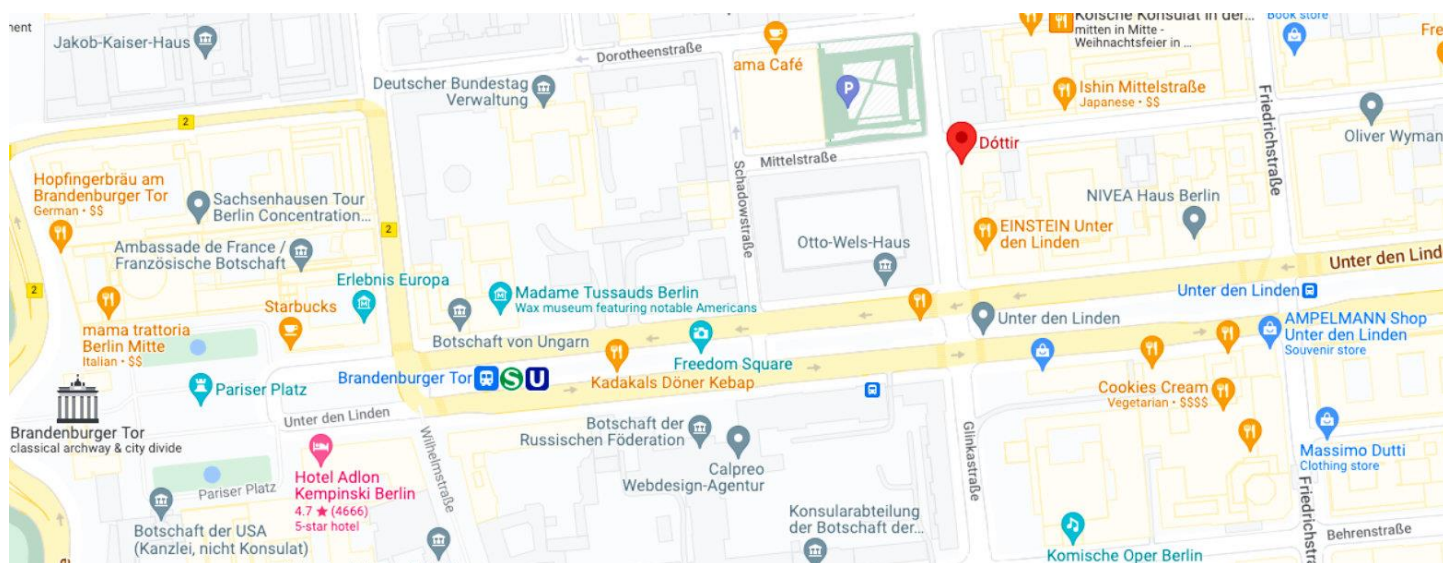
インテリアにはヘリンボーンのパフローリングや色鮮やかな分厚いガラス窓、表面に貫入が入ったクラクリュール (craquelé) タイルなど、20世紀初頭のベルリンで流行した素材が印象的に取り入れられている。全体の色合いもオーク材のダークブラウンを基調に、暖かみのあるウィローグリーンやダークブルー、バーガンディなど重厚でクラシックなトーンだ。しかしそこにベルリンにゆかりのある現代アーティストの作品を展示し、オークや錫、大理石、ベルヴェットなど伝統的な素材を使いながらも現代的なデザインの家具を取り入れることで、モダンにアレンジ。ベルリンらしく解放感もある高い天井の空間には、1920年代のガス灯のかたちをイメージした和紙と真鍮製のランプや、モダンなガラスランプでアクセントを。格式高いグランドホテルの趣を残しながらもスタイリッシュな印象を与えることに成功している。

Project Details

(Room: Photo Felix Brueggemann / Lobby, Dining, Restaurant: Photo Gianni Plescia)

1. Client: Château Royal
2. Type of Business: Hotel
3. Open Date: 09/2022
4. Location: Mittelstrasse 41-44, 10117 Berlin
5. Size: 93 rooms
6. Interiordesign: Irina Kromayer, Etienne Descoux, Katariina Minits
7. Website: <https://www.chateauroyalberlin.com/>

Location Map





上：インダストリアルデザイナーChristian Haas に特注した彫刻的なソファが重厚な木製家具に囲まれた空間に、柔らかさを与える。 下：ベルリンの古いアパートの作り付け家具からインスピレーションを得た木製家具。バスルームには部屋の壁の色と呼応する色のタイルを。





上：一見シックなホテルバーだが、壁にはコンテンポラリーアーティストの作品が。

下：ベルリンの街中でチラホラと見かける分厚い色ガラスをホテルバーの一角に大きく取り入れて。





上：20 世紀初頭に流行したヘリンボーンフローリングと壁全体を覆う木製の棚。モダンなテーブルや椅子、照明で現代的な印象に。

2. Dóttir

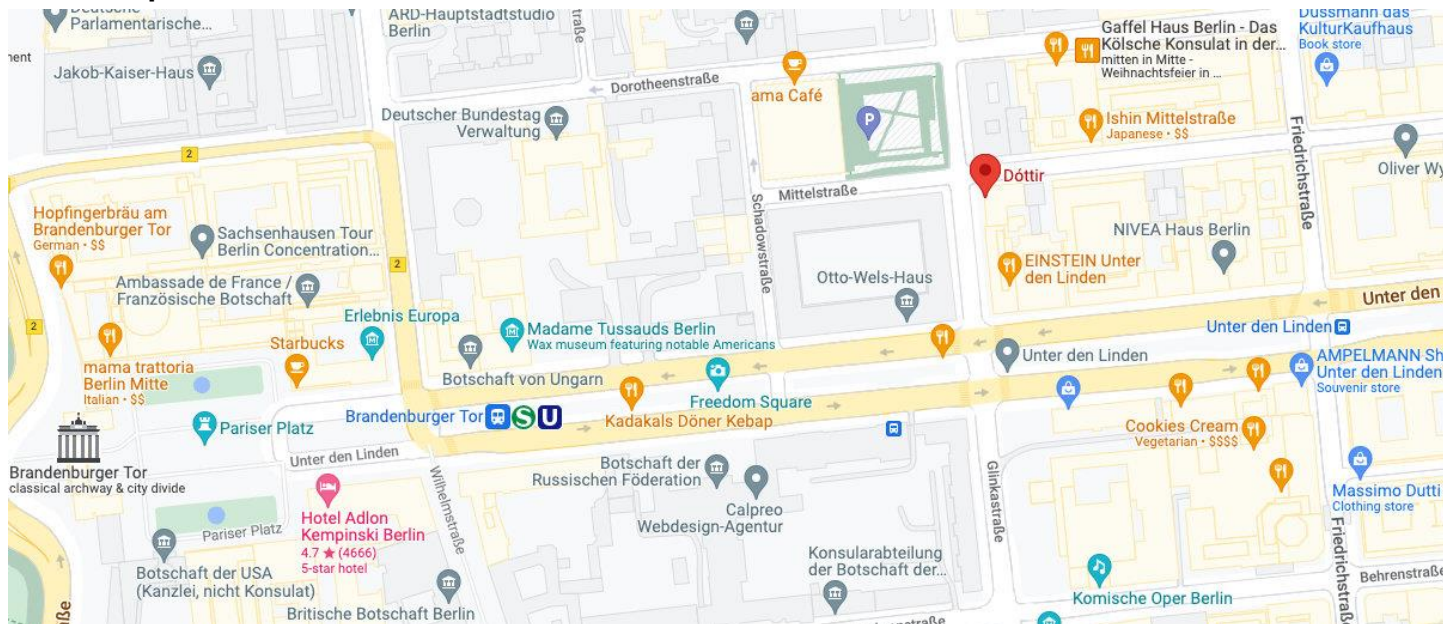
Project Overview

ホテル「Château Royal」のレストランとしてリニューアルオープンを果たした「Dóttir」。元々は2015年、Olafur Eliassonのスタジオで料理を作るため、ベルリンにやってきたVictoria Elíasdóttirがオープンした小さなレストランだった。地産地消でサステイナブルな料理をというコンセプトはそのままに、より野菜を中心に旬の地元の素材を使ったものに。“グランドホテルのレストラン”ではなく、レストランとして街の人たちが足を運びやすいよう、開放的で肩の力が抜けた空間づくりを心がけた。特筆すべきは、メイン空間のモダニズム建築の工場を思わせる天井の高さと、大きなガラス窓だ。カラフルな磨りガラスが楽しい引き戸の向こうには、ネオン管を使ったアート作品が垣間見え、オープンキッチンの喧騒が漏れ聞こえる。バウハウスデザインのオークの椅子が、ホテルロビーにつながる伝統的な趣のプライベートダイニング、カクテルバーとレストラン空間をつなぐ。落ち着いた色合いや素材感で、木彫りの目隠しやムラーノガラスのシャンデリアなどとも違和感なくマッチ。もうちょっとと長居したくなるような居心地のよい空間だ。

Project Details

1. Client: Château Royal / Dóttir
2. Type of Business: Restaurant, Weinbar
3. Open Date: 09/2022
4. Location: Mittelstrasse 41-44, 10117 Berlin
5. Interiordesign: Irina Kromayer, Etienne Descloux, Katariina Minits

Location Map





上：バウハウスを彷彿とさせるガラスファサードと引き戸。モダンな木製の家具のおかげかオリエンタル風の木彫の扉と違和感なく調和している。



上：奥の空間では工場のガラスファサードのように見えあ無骨な窓のエレメントが、ここでは幾何学的な模様のモダンなオブジェへと変化。呼応しているようで全く違う印象を与えるデザインが興味深い。大理石のテーブル、凝ったデザインのフローリングにベルヴェットのバースツールなど、両側のドアを閉めればプライベートな個室としても使える空間らしい、ラグジュアリーなインテリアだ。